育成センターだより No.65　2017年　2月

馬車道通信

編集 ・ 発行
平成29年2月1日発行
(公財) よこはまユース 横浜市青少年育成センター
横浜市中区住吉町4-42-1 関内ホール地下1階
TEL:045-664-6251/FAX:045-664-6254
http://www.yokohama-youth.jp

平成28年度
よこはまユース
シンポジウム

高校生たちの自立を支援する

～高校内居場所カフェの運営から見た高校生たちの課題～

高校に入学したものの、何らかの理由で中退する高校生や中退しないまでも将来に希望が持てない高校生が増加傾向にあります。このような中、神奈川県内では高校生の自立を支援する「高校内居場所カフェ」が注目されています。シンポジウムでは、「カフェ」を運営している実践者をお呼びして、高校生たちが今、何を悩み、何を課題としているのか？を明らかにするとともに、高校生の自立に向けた大人や社会の関わり方について考えていきます。

■日　時：平成29年3月10日（金）18：30～21：00
■対　象：青少年活動または地域活動に関心をお持ちの方、ＰＴＡ、教職員、行政、団体職員など。
■定　員：先着70名　■参加費：無　料
■会　場：横浜市青少年育成センター 第1研修室
■申込み：①事業名「よこはまユース・シンポジウム」
②氏名（ふりがな）③連作先（TEL、E-mail）
④所属・活動（あれば）を明記の上、TEL・FAX・HPの専用ﾌｫｰﾑでお申込み下さい。

【第1部　実践報告】
石井 正宏さん（ぴっかりカフェ）：
ＮＰＯ法人 パノラマ理事長
鈴木 健さん（川崎ぽちっとカフェ）：
社会福祉法人 青丘社

【第2部　パネルディスカッション】
運営から見えてきた高校生の課題を、大人がどのように受け止め、支えていけるかを参加者の皆さんと共に考えます。
≪コーディネター≫米田 佐知子さん
：子ども未来サポートオフィス代表
≪パネリスト≫石井 正宏さん/鈴木　健さん

情報スポットから

助成金の活用 No.14

子ども･若者や子育てに関わる活動の充実には､財源の確保が不可欠です。現在募集中の助成団体を掲載しました。ぜひ、活用し、活動を充実させていきましょう。（この他にも情報があります。詳しくは窓口でお尋ね下さい。）

助成制度名公募	助成対象	助成金額	募集期間
社会貢献基金助成 一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団	保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動を行っている団体	上限額　200万円 （1件あたり）	～2017/2/28
助成事業 公益財団法人 ノエビアグリーン財団	児童・青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびｽﾎﾟｰﾂの振興に関する事業を行っている団体	上限額　300万円 （1件あたり）	～2017/2/28
子どもゆめ基金 独立行政法人 国立青少年教育振興機構	子どもの体験活動や読書活動をしている団体	上限額 各活動規模による	二次募集 2017/5/1～6/6 （郵送） 5/1～6/20 （電子申請）
平成29年度　助成金 公益財団法人 ﾖﾈｯｸｽｽﾎﾟｰﾂ振興財団	青少年ｽﾎﾟｰﾂの振興に関する事業を積極的に行い、奨励しまたは自ら行い、かつその活動を3年以上継続して実施している団体	上限額　100万円 （1件あたり）	後期 ～2017/6/30

利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『ガールスカウト横浜市連絡協議会』

「Be the change」

つまり“変化する”ことです。何が変化するのか、何を変化させるのかは、まず、自分自身を変化させることです。たとえば、新しい事に挑戦して、今まで気づかなかった自分を発見し、その事（要素）を自分の中に内包し、新しい自分になる。成長していくということです。このような経験値を持って、現況の社会問題に関心を寄せて、仲間と共に“自分達にできる事”を考え、企画し、実践すること。それは、社会への変化をもたらすきっかけとなります。

自分が変わり、社会もより良く変わることが私たちの目指す事です。

（ガールスカウト横浜市連絡協議会 荒井紀美子さん　談）

馬車道コラム Vol.48 お稽古（レッスン）は楽し！

今から10年前、33年間在籍していた社会人ビッグバンドを退団した。所属するバンドと仲間を失い、どうしようかと考えた挙句、基礎からもう一度学んでみようと、渡辺毅（通称：サバオ）さんというプロのジャズドラマーのレッスンを受けることとなった。サバオさんには、実際に演奏した録音を聞いてもらって演奏上のアドバイスをもらったり、欠点を直すための練習方法を教えていただいたりした。中学生時代からトライしてみたかった「All American Drummer」という教則本もマスターすることができた。

一昨年からは、サバオさんの勧めもあって別の先生に就くことになった。以前にもこのコラムで書いた、新進気鋭のドラマー二本松義史（ﾆﾎﾝﾏﾂ ﾖｼﾌﾐ）さんである。自分の息子と言ってもいいぐらいの若さなのだが、本場アメリカで修行された経験から、「眼から鱗が落ちる」ような指導内容で、毎回３時間のレッスンがあっという間に終わってしまう。

サバオさんにしても二本松さんにしてもドラムテクニックを学ぶというよりも、ドラムやジャズに対する考え方、姿勢も学ばせてもらっているような気がする。ある時はカウンセラーとしていろんな悩みを聞いてもらうこともあれば、ドラムの本質的な部分に触れるようなアドバイスを貰うこともある。ある時、サバオさんから「所詮、ドラムはバッキング楽器だから。他のメンバーにいいリズムを出してあげることが大事だよ」なんて言われてしまった。こちらはレッスンしてもらって少しでもかっこいいドラムソロができることを期待していたため、きついパンチを食らった形になった。

最近、「レッスンに行けば、自動的に上手くなる」という浅はかな期待をもってレッスンに通っていたことに気がついた。やはり、レッスンで学んだことを反復して体に染み込ませない限りは上手くならないことを知った。もっと練習せねば。

＜ジャズおやじ＞

【追記】大学時代、今は亡き恩師武智鉄二氏が演出する近松門左衛門の「心中天の網島」で芸妓の役で出演することとなり、日本舞踊のお稽古に通っていたことがあった。お稽古はまず、正座をして扇子を前に置き、師匠に「よろしくお願いいたします」という挨拶から始まる。師匠と一対一で向き合い、教え、学びあう関係が何故か好きだ。

コーヒーメーカーレンタルサービス

10杯分 500円

会議・セミナー・勉強会で飲料が必要となる場合にコーヒーメーカー貸出を行っています。

≪貸出品及び消耗品10杯分≫

■貸出品（コーヒーメーカー、ポット、水差し）

■消耗品（コーヒー、砂糖、ミルク、紙コップ、マドラー、ごみ袋）

≪ご利用について≫

○お申込みは利用時間１時間前までにお願いします。

○お貸出時間はお部屋のご利用時間に準じます。

○10杯以上ご利用の場合は１セット（5杯分）ごとに250円にて販売します。

○万が一貸出機器を破損、または紛失された場合は、実費をお支払頂きます。※通常の使用での故障は除く。

○使用方法等不明な場合は受付までお尋ねください。

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。
横浜市青少年育成センター　TEL:045-664-6251　FAX:045-664-6254　E-mail:ikusei@yokohama-youth.jp